

# 逐條土地收用法資料 (八)

高 坂 孝 三

## 第四章 收用ノ手續

第十九條 内務大臣ノ認定ノ公告ノ後起業者ノ申請ニ依リ  
地方長官ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ公告シ又ハ

之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

軍機ニ關スル事業ニ付テハ主務大臣ハ地方長官ニ收用又

ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ通知シ地方長官ハ之ヲ土地所

有者及關係人ニ通知スヘシ

### 一、公告スヘキ土地細目ノ範圍

(行裁 昭和六年 第二五五號)  
同 六年十一月四日 宣告)

(要旨) 土地收用法第十八條及第十九條第一項ニ依リ起業

者ニ於テ申請シ地方長官ニ於テ公告スヘキ土地ノ細目ハ必  
スシモ内務大臣ノ認定シタル事業ニ必要ナル土地ノ全部タ  
ルヲ要セス起業者カ現實ニ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目  
ヲ以テ足ルモノト解スヘキモノトス

(判決理由) 土地收用法第十八條ニハ「起業者カ内務大臣ノ認  
定ノ公告後三箇年間ニ第十九條ノ申請ヲ爲ササルトキハ其ノ認  
定ハ效力ヲ失フ」トアリ同法第十九條第一項ニハ「内務大臣ノ  
認定ノ公告ノ後起業者ノ申請ニ依リ地方長官ハ收用又ハ使用ス  
ヘキ土地ノ細目ヲ公告シ又ハ土地所有者及關係人ニ通知スヘ  
シ」トアリテ起業者ニ於テ申請シ地方長官ニ於テ公告スヘキ土  
地ノ細目ハ必スシモ内務大臣ノ認定シタル土地ノ全部タルヲ要  
セス起業者カ現實ニ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ以テ足ル

モノト解スヘキヲ以テ起業者カ申請シ地方長官カ公告シタル土地ノ細目カ内務大臣ノ認定シタル事業ニ必要ナル土地ノ全部ナラサルノ故ヲ以テ内務大臣ノ事業認定ハ效力ヲ失ヒ又地方長官ノ土地細目ノ公告ハ違法ナリトスルヲ得ス

## 二、土地細目公告ノ更改

(一) (内務 大正三年八月十日發土 第二七號)  
東京土木出張所長宛土木局長通牒)

(要旨) 事業認定公告後三ヶ年内ニ爲シタル收用地細目公告ノ失効ニ至ラサル間ハ當該ノ事業認定モ其ノ效力ヲ失ハサルヲ以テ其ノ間更ニ收用地細目ノ公告ヲ求ムル必要アルトキハ重ねテ事業認定ヲ受クルヲ要セス直ニ公告方請求シ得ルモノトス

(原文) 土地收用細目公告ヲ爲スヘキ期間ノ件——標記ノ件ニ付七月六日發第五三二號御上申ノ次第モ有之候處事業認定公告後三ヶ年内ニ爲シタル收用地細目公告ノ失効ニ至ラサル間ハ當該ノ事業認定モ其ノ效力ヲ失ハサルヲ以テ其ノ間更ニ收用地細目ノ公告ヲ求ムル必要アルトキハ重ねテ内閣ノ認定ヲ受クルヲ要セス直ニ公告方要求相成可然

(東京土木出張所長上申) 荒川改修工事所要ノ土地ハ明治四十

四年六月二十八日内閣ノ認定ヲ受ケタルモノニ有之候處土地收用法第十八條ニ依リ本年六月應當日ニ於テ其ノ效力ヲ喪失シタルモノト認メラレ候ニ付更ニ未承諾ノ土地ニ付收用致度候條内閣ニ於テ認定公告相成候御詮議相成度此段上申候也

註、第十八條ハ事業認定公告後三ヶ年ヲ經過シタル後ニ於ケル土地細目公告申請ニ對シテハ曩ノ事業認定ハ既ニ何等ノ役目ヲ爲サヌコトヲ意味スル。之ハ土地細目公告ノ申請期間ヲ適當ニ制限スルコトガ一ノ目的デアツテ制限外ノ申請ニ付テハ新ニ事業認定ヲ要スル意味ニ於テ曩ノ事業認定ノ效力ヲ規定シタモノデアル。故ニ事業認定公告後三ヶ年ヲ經過シタル後ニ於テハ最早曩ノ事業認定ニ基キ土地細目公告更改ノ申請ヲ爲スコトハ許サレヌモノト考ヘル。何トナレバ右更改ノ申請モ亦土地細目公告ノ申請ニ外ナラヌカラデアル。若シ本件實例ノ如ク解スルナラハ起業者ハ土地細目公告ノ更改ヲ申請スルコトニ依リ不當ニ手續ヲ遷延セシメ得ルコト、ナラウ。

(二)

(行裁 大正二年 第四號)  
同二年三月十七日宣告)

(要旨) 地方長官ハ起業者ノ申請ニ依リ事業ノ關係及進捗上必要アリト認ムルトキハ内閣ノ認定公告ノ範圍ヲ超越セ

サル限り右認定公告後三ヶ年以内何時ニテモ收用又ハ使用ス  
ヘキ土地ノ細目變更ヲ公告スルノ權能ヲ有スルモノトス

(判決理由) 法第十四條ニ依レハ内閣ノ認定ノ公告ハ起業者及  
事業ノ種類ノ外當該起業地ノ大體ヲ公告スルヲ例トシ而シテ法  
第十九條ニ依レハ地方長官ノ公告又ハ通知ニ依リテ初メテ收用  
又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ土地所有者及關係人ニ告知スルノ  
規定ナルヲ以テ地方長官ハ起業者ノ申請ニ依リ右内閣ノ認定公  
告ノ範圍ヲ超越セサル限り事業ノ關係及ヒ進捗上必要アリト認  
ムル場合ニハ三ヶ年以内何時ニテモ收用又ハ使用スヘキ土地ノ  
細目變更ヲ公告スルノ權能ヲ有スヘキハ素ヨリ當然ニシテ現ニ  
法第五十八條ニ於テモ地方長官ノ公告又ハ通知後ニ於ケル事業  
ノ變更ヲ認ムル規定アルニ依リテ之ヲ見ルモ内閣ノ認定公告後  
三ヶ年以内ハ地方長官ニ於テ法第十九條ノ規定ニ依リ必要ニ應  
ジ隨時其公告又ハ通知ノ更改ヲ爲スヲ妨ケス

註、事業認定公告後三ヶ年ハ起業者ニ於テ土地細目公告ノ申  
請或ハ其ノ更改ノ申請ヲ爲シ得ヘキ期間デアリ地方長官ニ  
於テ土地細目公告ヲ爲スヘキ期間ニ付テハ別段ノ定メハナ  
イ。右認定公告後三ヶ年滿了ノ直前ニ爲サレタ申請ニ對シ  
滿了後公告スルハ有效デナケレバナラス。

法 令

(三) (内務 明治卅四年六月廿五日乙第五七號)  
福岡縣知事宛 土木局長同答

(要旨) 土地細目公告後一ヶ年以内ニ收用審査會ノ裁決ヲ求  
メサルニ依リ公告ノ失効シタル場合ニ於テハ第十八條ノ期  
間内幾回ニテモ第十九條ノ手續ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

(原文) 本年六月二十日發第二〇三條ヲ以テ土地收用法中疑義  
ノ廉御照會ノ件了承右ハ第十八條ノ期間内幾回ニテモ第十九條  
ノ手續ヲ爲スコトヲ得ヘキ義ニ有之候此段及回答候也

(福岡縣知事伺) 土地收用法第十九條ニ依リ土地細目ノ公告ヲ  
申請シ遂ニ一ヶ年以内ニ於テ收用審査會ノ裁決ヲ求ムルニ至ラス  
該公告ハ無効ニ屬スルヲ以テ更ニ第十八條ノ期間アルヲ以テ再  
ヒ第十九條ノ申請ヲ爲スモノアリ右ハ内閣ニ於テ事業認定ノ後  
ハ假令第十八條ノ期間内ト雖モ再ヒ同一ノ土地ニ對シ第十九條  
ノ手續ヲ爲シ得ヘキモノニ無之義ニ候哉將タ第十八條ノ期間内  
ハ幾回ニテモ第十九條ノ手續ヲ爲シ得ヘキ義ニ候哉疑義相生シ  
候條御意見承知致度此段及照會候也

(四) (行裁 大正二年 第四號)  
同二年三月十七日宣告

(要旨) 土地細目公告カ一ヶ年ノ有効期間ヲ過キテ全ク消

減シタル場合ニ於テ内閣ノ認定ノ效力ニシテ尙存續スル間  
起業者ノ申請ニ基キ再度ノ公告ヲ爲スコトハ素ヨリ適法ナ  
リ

(判決理由)

本件ニ於テ地方長官ノ最初爲シタル公告ナルモノ  
カ既ニ一ケ年ノ有効期間ヲ過キテ全ク消滅シタルニ依リ更ニ再  
度ノ公告ヲ爲スノ止ムラ得サルニ出テタルモノナルコト明ナレ  
ハ最初ノ公告ハ法律上全ク之ヲ爲ササリシモノト看做シ得ルヲ  
以テ内閣ノ認定ノ效力ニシテ尙存續スル間ハ起業會社ノ申請ニ  
基キ再度ノ公告ヲ爲スコトハ素ヨリ適法ノ處置ニシテ之ヲ是認  
シタル審査會ノ裁決モ亦適法ノ點ナキモノトス

三、本條ノ手續ノ不要ナル場合

(内務省大正二年七月二十二日  
議決定)

(要旨) 甲官廳ノ事業ニ供スル爲收用シタル土地ヲ更ニ乙  
官廳ノ他ノ事業ニ供スル爲事業認定ヲ受ケタル場合ニ於テ  
ハ土地收用法第十九條ノ手續ヲ要セサルモノトス

(案原文) 土地收用法ニ依リ甲官廳ノ事業ニ供スル爲收用シタ  
ル土地ヲ更ニ乙官廳ノ他ノ事業ニ供スル爲内閣ノ認定ヲ受ケタ  
ル場合ニ於テハ同法第十九條ノ手續ヲ要セサルヤ否ヤニ付問合

ノ向モ有之候處右ハ其ノ手續ヲ要セサルモノト決定相成可然哉  
四、土地細目公告中不必要ナル記載

(大審院大正七年(オ)第三一〇號)  
八年二月七日言渡)

(要旨)

地方長官カ一旦適式ニ收用スヘキ土地ノ細目ヲ公  
告シタルトキハ其ノ公告ハ一ノ行政處分ナルヲ以テ後ニ行  
政處分ニ依リ取消サルル迄ハ其ノ效力ヲ保有スルモノニシ  
テ縱令公告ニ不必要ナル記載アリトスルモ單ニ此ノ一事ニ  
因リ公告カ無効トナルモノニ非ス

(判決理由)

案スルニ土地收用法第十九條ニ依レハ地方長官ハ  
内閣ノ認定ノ公告アリタル後起業者ノ申請ニ依リ收用又ハ使用  
スヘキ土地ノ細目ヲ公告シ又ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知  
スヘキモノトス而シテ地方長官カ一旦適式ニ收用スヘキ土地ノ  
細目ヲ公告シタルトキハ其ノ公告ハ一ノ行政處分ナルヲ以テ後  
ニ行政處分ニ依リ取消サルル迄ハ其ノ效力ヲ保有スルモノニシ  
テ縱令公告中ニ不必要ナル記載アリトスルモ單ニ此ノ一事ニ因  
リ公告ノ無効トナルモノニ非ス原院ノ確定シタル事實ニ依レハ  
大阪府知事ハ土地收用法第十九條ニ依リ明治三十四年三月二日  
本件係争地ニ付キ適式ニ收用土地細目ノ公告ヲ爲シタルモノニ

シテ後ニ之カ取消アリタルコトハ原院ノ認メサル所ナルノミナ  
ラス當事者ノ主張セサリシ所ナリ原院ハ「明治三十三年二月中  
即チ土地細目公告以前ニ於テ博覽會敷地トシテ任意ニ賣買セラ  
レタル土地カ本件收用土地細目中ニ掲記セラレアル事實ニ徴ス  
レハ右土地細目ノ公告ハ頗ル杜撰ノモノナルヲ以テ本件係争地  
カ右公告中ニ掲記セラレアリタレハトテ係争地カ收用法ニ依リ  
收用セララルヘキ土地ニシテ其賣買ハ土地收用法ノ所謂協議ニ依  
リタルモノト推斷スルヲ得ス」ト説明シ公告ノ效力ヲ否定スレ  
トモ係争地以外ナル任意ニ賣買セラレタル土地カ係争地ト共ニ  
併セ記載セラレアリタレハトテ其ノ公告ハ係争地ノ土地細目公  
告タルニ於テ缺クル所アルヘカラス即チ不必要ノ記載アリタル  
ニ過キササルヲ以テ之カ爲メニ係争地細目公告カ無効トナルヘキ  
理由アルヘカラスナリ故ニ原院カ如上ノ理由ヲ以テ前示土地  
細目公告カ杜撰ナルモノト爲シ之ヲ無効ナルモノノ如ク認メ以  
テ係争地ヘ土地收用法ニ依リテ收用セラルヘキ土地ニアラスト  
判示シタルハ不法ナリト謂ハサルヲ得ス

## 五、土地細目公告後收用ノ不必要ニ至リ

### タル場合ノ取扱

(内務明治三十三年九月四日乙第一〇二號)  
福岡縣知事宛 土木局長回答)

(要旨) 土地細目公告後收用ノ不必要ニ至リタル土地ニ付  
テハ公告ヲ取消シ土地收用法施行令第十條ノ手續ヲ履行ス  
ルヲ相當トス

(原文) 土地收用法第十九條ニ依リ土地ノ細目ヲ公告シタル後  
工事計畫ノ變更ニ依リ收用ノ不必要ニ至リタル土地ノ件ニ關シ  
客月八日收二第七百五十二號ヲ以テ御照會ノ趣了承右ハ公  
告ヲ取消シ又土地收用法施行令第十號ノ手續ヲ履行スル方充當  
ト存候此段及同答候也

(福岡縣知事宛) 土地收用法第十九條ニ依リ土地ノ細目ヲ公告  
シ而シテ其ノ一部ノ土地工事上收用ノ必要ナキトキ事業ノ廢止  
又ハ變更ト云フマテノモノニ無之トキハ別ニ公告ノ取消ヲ爲サ  
ス又同法施行令第十條ノ手續ヲ爲スニ及ハサル義ト心得可然哉  
此段及御照會候也

## 六、土地細目公告ニ於ケル起業者名義ノ

### 表示方

(行裁昭和五年 第三五二號)  
同七年三月十九日宣告)

(要旨) 起業者カ鐵道省ナル場合ニ土地收用法第十四條ノ  
規定ニ依リ内務大臣ノ事業認定並同法第十九條ノ規定ニ依  
ル土地細目公告ニ於テ起業者ヲ鐵道省ト表示セス鐵道大臣

ト爲シタルハ違法ニ非ス

(判決理由) 原告ハ……本件土地ヲ必要トスル起業者ハ鐵道省ナルニ拘ラス本件土地收用ニ付テ土地收用法第十四條ノ規定ニ依リ爲サレタル内務大臣ノ事業認定並同法第十九條ノ規定ニ依リ爲サレタル地方長官ノ土地細目ノ公告ハ何レモ起業者ヲ鐵道大臣ト爲セルハ違法ナルヲ以テ右認定並公告ハ無効ノモノニシテ之等無効ノ認定及公告ニ基キテ爲サレタル本件ノ裁決モ亦無効ナル旨主張スルモ……起業者カ鐵道省ナル場合ニ同法第十四條ノ規定ニ依リ内務大臣ノ事業認定並同法第十九條ノ規定ニ依リ土地細目公告ニ於テ起業者ヲ鐵道省ト表示セス鐵道大臣ト爲シタルヲ違法ナリトスヘキ何等ノ理由ナシ因テ此ノ點ニ關スル原告ノ主張ハ採用スルニ由ナシ

### 七、道路用地ノ收用ト土地細目公告ノ時期

(行裁 昭和八年 第二二九號)  
同 八年十二月廿三日宣告

(要旨) 道路用地ノ收用ニ於ケル土地細目公告ハ路線ノ定マリタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得サル法令上ノ制限ナシ

(判決理由) 原告ハ本件土地細目公告ハ未ダ路線ナキ箇所ニ付

爲シタルモノナレハ該公告ハ無効ナルカ故ニ其ノ區域内ノ土地收用ノ裁決ハ違法ナリト主張スレトモ土地細目ノ公告ハ路線ノ定マリタル後ニ非サレハ爲スコトヲ得サル法令上ノ制限ナキヲ以テ右主張ハ理由ナシ

### 八、土地細目公告ト協議

(大審 大正七年(オ)第三一〇號)  
同 八年二月七日言渡

(要旨) 土地細目ノ公告後ニ爲シタル賣買ノ契約ハ協議ニ外ナラス假令土地細目ノ公告前ニ於テ賣買ノ交渉アリタリトスルモ公告後ニ至リテハ其ノ交渉ニ依リ賣買ヲ爲スニ由ナク收用ノ一種トシテ協議ヲ爲スノ外ナシ

(判決理由) 原判決ノ確定シタル事實ニ依レハ原告人ハ被告人ト明治三十二年ヨリ明治三十三年ノ末ニ互リ係争地ノ賣買ニ關スル交渉ヲ爲シタルモ未ダ賣買契約成立スルニ至ラス其交渉ノ途中ニ於テ明治三十四年二月十五日公團新設ノ爲ニ土地ヲ收用スルコトヲ得ル事業トシテ内閣ノ認定ヲ受ケ明治三十四年三月二日大阪府知事ヨリ係争地ニ付キ收用土地細目ノ公告アリ其ノ後明治三十四年三月八日ニ至リ係争地ノ所有權移轉ノ契約成立シタルモノトス原院ハ右ノ契約ヲ以テ賣買契約ナリト爲シ其

理由トシテ其ノ契約ハ土地ヲ公園ト爲スカ爲メニアラス博覽會ノ敷地ニ供スル目的ニ出テタルモノナレハ内閣ノ認定ヲ經タル以外ノ事業ノ爲メニ土地ヲ買收スルモノニシテ假令其讓渡カ土地細目公告後ニシテ且ツ其ノ目的物カ收用セラルヘキ目的物ト同一ナレハトテ之ヲ以テ協議ニ依リタルモノト謂フコトヲ得不起業者ハ必スシモ内閣ノ認定ヲ經タル事業ニ收用セサルヘカラルサル義務ナシト説明スレトモ土地細目ノ公告アリタル後ハ民法上ノ買賣契約ヲ爲スコトヲ得ス公告後ニ爲シタル契約ハ即チ協議ニ外ナラサルノミナラス起業者ニ於テ事業ヲ廢止又ハ變更シ

土地ヲ收用スル必要ナキニ至リタルコトヲ地方長官ニ届出テ收用手續ヲ廢止セシムルノ手續ヲ爲スニアラサレハ内閣ノ認定シタル事業ノ爲メ收用手續ヲ遂行セサルヲ得サルコトハ土地收用法施行令第十條ノ規定ニ照シテ明カナルヲ以テ假令土地細目ノ公告前ニ於テ博覽會敷地ト爲ス爲メニスル賣買ノ交渉アリタリトテ公告後ニ至リテハ其交渉ニ依リ賣買ヲ爲スニ由ナク公園設備ノ爲メニスル收用ノ一種トシテ協議ヲ爲スノ外ナキモノトス故ニ原判決ハ不法ナリ

第十九條ノ二 前條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後ハ土地所有者及關係人ハ事業ニ支障ヲ及ホス虞ナキ場合ヲ除クノ外行政廳ノ許可ヲ得ルニ非ザレバ收用又ハ使用スヘキ

土地ノ形質ヲ變更シ又ハ第七條ノ二ノ物件ヲ損壞若ハ收去スルコトヲ得ズ

### 一、本條制定ノ理由

(內務昭和二年)  
改正案說明書

(原文) 地方長官カ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ公告シ又ハ通知ヲ爲シタル後ト雖モ土地所有者及關係人ハ其ノ有スル權利ニ何等ノ制限ヲ受クルコトナク只第五十六條ノ規定ニ依リ行政廳ノ許可ヲ得スシテ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ工作物ヲ新築改築増築若クハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置シタル場合ニ之レニ因リ生シタル損失ノ補償ヲ請求シ得サルニ止マリ自由ニ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ地上物件ヲ損壞若ハ收去スルコトヲ得ルヲ以テ之カ爲往々收用ノ目的ヲ達スルコト能ハサル場合アルノミナラス第七條ノ二ニ規定シタル地上物件等ヲ損壞又ハ收去スルトキハ公共事業ノ遂行ヲ不可能ナラシムルコトナルヲ以テ土地所有者及關係人ノ行爲カ事業ニ支障ヲ及ホス虞アル場合ニ限リ權利ノ自由行使ヲ禁止セムトス

第二十條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後ハ起業者ハ其ノ土地ニ立入り土地物件ヲ調査スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ起業者ハ立入ルヘキ日ヨリ三日前ニ其ノ日時及場所ヲ其ノ土地所有者ニ通知スヘシ日出前日没後ハ占有者ノ承諾アルニ非サレハ邸内ニ立入ルコトヲ得ス

### 一、土地調査手續上ノ違法ト裁決ノ效力

(行裁昭和三年 第一八九號)  
同五年二月二十日宣告)

(要旨) 裁決ニ影響ナキ土地調査手續上ノ違法ヲ理由トシテ裁決ヲ違法ナリト爲スヲ得ス

(原告主張) 本件土地收用ノ裁決ハ東京府カ本件收用ニ係ル道路改修計畫ノ當初同府青梅出張所員カ土地所有者ニ通知セス又其ノ拒絶セルヲモ願ミス調査セル杜撰ニシテ事實ト相違セル圖書及實測圖ヲ其ノ儘基礎ト爲シタルモノニシテ本件收用ニ付テハ收用土地ヲ測量調査シタルコトナシ昭和三年三月十三日土地調書作成當日ハ東京府廳ヨリ係官二名出張シタルモ單ニ土地ノ現状ヲ見廻リタルノミニテ何等測量調査ヲ爲サス土地收用法第二十條ニ依ル通知ヲ爲サス同法施行令第二條ニ依ル證據ヲ携帯セス結局本件裁決ハ土地調査手續上違法アリ

(判決理由) 原告ハ本件土地收用ニ關スル土地調査手續上違法

アリ從テ本件裁決ハ無効ナリト主張スルモ假リニ原告主張ノ如キ違法アリトスルモ之ヲ以テ裁決ノ效力ニ何等影響ヲ及ホスモノト認ムルヲ得サルヲ以テ該主張ハ理由ナシ

第二十一條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者ハ土地所有者及關係人ト共ニ土地物件ニ關スル圖書ヲ作ルベシ

前項ノ場合ニ於テ土地所有者又ハ關係人ガ圖書ヲ作ルトヲ拒ミタルトキ其ノ他之ト共ニ圖書ヲ作ルコト能ハザルトキハ起業者ハ市町村長ヲ立會フ以テ之ヲ作ルベシ市町村長ガ起業者ナルトキ又ハ起業者ニ對シ第四十條第二項ニ掲ゲタル關係ヲ有スルトキハ起業者ノ申請ニ依リ地方長官立會人ヲ指定スベシ

起業者、土地所有者及關係人ハ本條ノ規定ニ依リ作りタ  
ル圖書ノ記載事項ニ對シテ異議ヲ述ブルコトヲ得ズ

### 施行令

第六條 土地收用法第二十一條ノ規定ニ依ル圖書ハ土地調査及物件圖書トス土地圖書ニハ收用又ハ使用セントスル土地ニ付



キ左ノ事項ヲ記載シ實測平面圖ヲ添附スベシ

一、土地所在ノ郡、市、區、町、村及ヒ字、土地ノ番號、地目及ヒ面積並土地所有者ノ名及住所

二、收用又ハ使用セントスル土地ノ面積

三、土地ニ關シテ權利ヲ有スル者ノ名及住所並ニ其ノ權利ノ種類及ヒ内容

四、調書ヲ作りタル年月日

五、其ノ他必要ナル事項

物件調書ニハ收用若ハ使用又ハ移轉セントスル物件ニ付左ノ事項ヲ記載スベシ

一、物件ノ在ル土地所在ノ郡、市、區、町、村及字並ニ土地ノ番號及地目

二、物件ノ種類及數量並ニ其ノ所有者ノ名及住所

三、物件ニ關シテ權利ヲ有スル者ノ名及住所並ニ其ノ權利ノ種類及ヒ内容

四、調書ヲ作りタル年月日

五、其ノ他必要ナル事項

物件ガ建物ナル場合ニ在リテハ物件調書ニハ前項ニ掲グルモノノ外建物ノ種類ニ區別シ其ノ構造及建坪ヲ記載シ實測平面圖ヲ添附スベシ

法 令

土地收用法第七條ノ規定ニ依リ權利ヲ收用又ハ使用スル場合ニ於ケル調書ニ關シテハ第二項ノ例ニ依ル

土地收用法第七條ノ二ノ規定ニ依リ物件ニ關スル權利ヲ收用又ハ使用スル場合ニ於ケル調書ニ關シテハ第三項及第四項ノ例ニ依ル

調書ニハ調書ヲ作りタル起業者、土地所有者及關係人記名捺印スベシ立會人アルトキハ立會人モ亦之ニ記名捺印スベシ

一、本條改正ノ理由

(內務昭和二年)  
改正案說明書

(原文) 現行法ニ於テハ收用又ハ使用スヘキ土地物件ノ調書ノ作成ヲ起業者土地所有者又ハ關係人ノ自由意志ニ委ネタルヲ以テ之ヲ作成セサル者多キヲ占メ起業者カ作成シタル調書ニ依リ收用審査會ノ裁決ヲ求ムルコト尠カラサルヲ以テ後日ニ至リ土地物件ニ關シ起業者ト被收用者トノ間ニ紛議ヲ惹起スル場合アリ而モ之ニ關スル紛議ハ後日ニ至リテ發生スルモノナルカ故ニ土地物件ノ數量又ハ其ノ存否ヲ調査スルハ專斷ル困難ナリトス依リテ土地物件ノ調書ノ作成ヲ起業者ノ義務ト爲シ起業者ハ土地所有者及ヒ關係人ト共ニ調書ヲ作成スヘク土地所有者又ハ關係人カ調書ヲ作ルコトヲ拒ミタルトキ其ノ他之ト共ニ調書ヲ作

ルコト能ハサルトキハ市町村長ノ立會ヲ以テ之ヲ作成シ土地物  
件ニ關スル紛議ヲ未然ニ防止セムトス

市町村長カ立會ヲ爲スヘキ場合ニ於テ其ノ市町村長カ起業者ナ  
ルトキ又ハ起業者ニ對シ法第四十條第二項ニ掲ケタル關係ヲ有  
スルトキハ其ノ職務ノ執行ニ付之ヲ除外シ別ニ地方長官ヲシテ  
立會人ヲ指定セシメムトス

## 二、土地物件調査ノ作成ノ要件並ニ效力

(一) (行裁 昭和九年第三三六、七號  
同 十二年五月六日宣告)

(要旨) 土地收用法第二十一條第一項ニ依リ作成スル土地  
物件ニ關スル調査ハ現場ヲ調査シタル者カ自己ノ名ヲ以テ  
作成スヘキモノニシテ同條第二項ニ依ル市町村長ノ立會ハ  
現場ニ於ケル調査ニ現場ニ於テ立會フコトヲ要スルヲ注意  
ナリ

從テ現場ヲ調査セサル者カ自己ノ名ヲ以テ作成シ若クハ現  
場ニ立會ハサル市町村長カ立會人トシテ署名シタル調査ハ  
何レモ違法ノモノナレトモ斯クノ如キ違法アル調査ハ同條  
末項ニ規定セル效力ヲ認メラレサルニ止マリ之カ爲ニ土地

收用ノ裁決ヲ違法ナリト爲スコトヲ得ス

(判決理由) 土地收用法第二十一條第一項ニ依リ作成スル土地  
物件ニ關スル調査ハ現場ヲ調査シタル者カ自己ノ名ヲ以テ作成  
スヘキモノニシテ同條第二項ニ依ル市町村長ノ立會ハ現場ニ於  
ケル調査ニ現場ニ於テ立會フコトヲ要スルノ注意ナリト解スヘ  
ク從テ現場ニ立會ハサル市町村長カ立會人トシテ署名シタル調  
書若クハ現場ヲ調査セサル者カ自己ノ名義ヲ以テ作成シタル調  
書ハ何レモ違法ノモノナレトモ斯クノ如キ違法アル調査ハ同法  
第二十一條末項ニ規定セル效力ヲ認メラレサルニ止マリ之カ爲  
ニ土地收用ノ裁決ヲ違法ナリト爲スコトヲ得サルモノナルコト  
ハ當裁判所昭和三年第百八十九號事件(昭和五年二月二十日宣  
告)ノ判決ニ示ス所ノ如クナルヲ以テ假令本件物件調査ノ作成  
名義人ハ現場ニ於テ調査シタル者ニ非スシテ調査シタル者ハ其  
ノ命ヲ受ケタル大阪土木出張所ノ官吏又立會名義人ハ現場ノ調  
査ニ立會ヒタル者ニ非スシテ立會ヒタル者ハ其ノ命ヲ受ケタル  
高石町書記ナルカ爲ニ本件物件調査ニ違法ノ點アリトスルモ此  
ノ故ノミニ依リ之ニ基キテ爲サレタル本件裁決ヲ違法ト爲スコ  
トヲ得サルヲ以テ此ノ點ニ關スル原告ノ主張ハ失當ナリ

(二)

(行裁 昭和三年 第一八九號  
同五年二月二十日宣告)

(要旨) 土地收用法第二十一條第二項ニ依ル市町村長ノ立會ハ現場ニ於ケル調査ニ現場ニ立會フコトヲ要ス又同條ニ依ル調査ハ現場ヲ調査シタル者カ自己ノ名義ヲ以テ作成スルコトヲ要ス現場ニ立會ハサル市町村長カ立會人トシテ署名シタル調査及ヒ現場ヲ調査セサル者ノ名義ヲ以テ作成セル調査ハ違法ナリ然レトモ以上ノ如キ違法アル調査ハ土地收用法第二十一條第三項ニ規定セル效力ヲ認めラレサルニ止マリ之カ爲直ニ土地收用ノ裁決ヲ違法ナリト爲スヲ得ス

(判決理由) 土地收用法第二十一條第二項ニ依ル市町村ノ立會ハ現場ニ於ケル調査ニ現場ニ於テ立會フコトヲ要スルノ法意ナリト解スヘク現場ニ立會ハサル吉野村長カ立會人トシテ署名シタルモノナルコト被告ノ争ハサル本件調査ハ違法ナリ又土地收用法第二十一條ニ依リ作成スル該調査ハ現場ヲ調査シタル者カ自己ノ名義ヲ以テ作成スヘキモノト解スヘキモノトス然ルニ本件調査ハ東京府知事カ其ノ所屬技術者ヲシテ現場ヲ調査シ作成セシメタルモノナルコト被告ノ争ハサル所ナルニ現場ヲ調査セサル東京府知事ノ名義ヲ以テ作成セラレタルモノナルヲ以テ違法ナリ然レトモ以上ノ如キ違法アル調査ハ土地收用法第二十一條第三項ニ規定セル效力ヲ認めラレサルニ止マリ之カ爲直チニ

法 令

土地收用ノ裁決ヲ違法ナリト爲スヲ得ス此ノ點ニ關スル原告ノ主張ハ理由ナシ

三、土地物件調査作成手續ノ違法ト裁決

ノ效力 (行裁大正十三年第四號 同十四年三月三十一日宣告)

(要旨) 土地收用法ニ依ル土地物件調査ハ單ニ證據保全ノ爲作成スルモノナルヲ以テ假ニ調査作成ノ手續ニ違法ノ點アリトスルモ其ノ調査ノ證據力ヲ争フハ格別之ノミヲ以テ收用審査會ノ裁決ヲ直ニ違法ナリト云フコトヲ得ス

(判決理由) 略

四、關係人ヲ除外シテ作成シタル土地物

作調査ト之ニ基ク裁決ノ效力

(行裁昭和五年第三五二號 同七年三月二十九日宣告)

(要旨) 起業者カ土地收用法第二十一條ニ依ル土地物件ノ調査ヲ作成スルニ當リ關係人ノ立會ヲ求メス且同調査ニハ關係人ノ所有スル物件竝同人カ關係人ナルコトノ記載ヲ缺クモ土地所有者ハ立會シ調査ニ捺印シ居リ其ノ土地物件ニ

關スル限り右調書ノ記載カ事實ニ符合スルモノナル以上右調書ハ土地所有者ニ關スル限り有效ニシテ從テ右調書ニ基キ土地所有者ニ對シ收用審査會カ爲シタル裁決ハ之ヲ無効ト爲スヘキニ非ス

(判決理由) 原告ハ本件收用地内ニハ寺田コマツ、松下菊江、同高次郎ノ各所有ニ係ル建物存在シ同人等ハ本件收用地ノ關係人ナルニモ拘ラス起業者カ土地收用法第二十一條ニ依ル土地物件調書ヲ作成スルニ付テ同人等ノ立會ヲ求ムルコトナク且調書ニハ同人等ノ所有スル物件竝同人等カ關係人ナルコトノ記載ヲ缺クヲ以テ右調書ハ無効ニシテ從テ右調書ニ基キ爲サレタル本件裁決モ亦無効ナル旨主張シ行政裁判所大正五年四月十四日宣告大正二年第二百五十二號事件ヲ引用スル所アルモ起業者カ右調書作成ニ當リテハ原告モ立會シ之ニ署名捺印シ居リ原告ノ土地物件ニ關スル限りニ於テハ右調書ノ記載カ事實ニ合スルモノナルヲ以テ……右調書ハ原告ニ關スル限りニ於テハ有效ニシテ從テ同調書ニ基キ原告ニ對シ被告カ爲シタル本件裁決ヲ無効ト爲スヘキニ非ス原告引用ノ當裁判所判決例ハ事實ニ反スル記載アル調書ニ基キ原告ニ對シ被告カ爲シタル場合ニ關スルモノニシテ本件ノ先例トシテハ適切ナルモノニ非サルヲ以テ此ノ點ニ

關スル原告ノ主張ハ理由ナシ

五、調書作成事務ノ代行

(內務 昭和五年十月二十五日甲第二二號) 茨城縣知事宛土木局長回答

(要旨) 國有鐵道敷設事業用地ノ收用ニ關スル土地收用法第二十一條ニ依ル調書作成事務ハ當該調書作成ニ付授權アル以上鐵道屬ニ於テ代行シ得ルモノトス

(原文) 九月十二日土收第一三八〇號ヲ以テ國有鐵道敷設事業用地買收ニ關シ土地收用法第二十一條ニ依ル調書作成事務ヲ鐵道屬ニ於テ代行シ得ルヤノ件御照會有之候處右ハ當該調書作成ニ付其ノ授權アル以上之ヲ作成シ得ル義ト存候

追テ大正八年五月九日發土第五六號通牒ハ起業者トシテ發スル文書ニ記名スヘキ者ニ關スルモノニシテ御照會ノ如キ事務ノ執行ニ付他ノ補助機關ノ代行ヲ認メサルノ趣旨ニ無之候條御了知相成度

(茨城縣知事伺) 土地物件ノ調書ハ起業者ノ名ニ於テ作製スルヲ要スルハ勿論ノ義ト被存候得共大正八年五月九日發土第五六號ヲ以テ貴官ヨリ別紙寫(甲號)ノ通牒ニ依リ各其ノ所屬官吏ニ分掌セシメタル場合ニ於テハ所屬長ノ名義ニテ支障ナキコト

ニ取扱居候處今同鐵道省起業鐵道線路敷設ノ爲土地ヲ收用セムトシ之カ收用審査會ノ裁決要求有リタルモノニ就テ調査スルニ別紙寫(乙號)ノ通土地ニ關シ本條ノ調書ヲ鐵道省東京建設事務所勤務屬入村精一ノ名義ニテ作製セルヲ以テ一應照會致候處右調書ハ屬ニ代行セシメタル旨同答(別紙寫丙號)有之候得共右大正八年五月九日發土第五六號貴官通牒ノ趣旨ハ文中明示セラレタル職務權限ヲ有スル者ノミニ限定セラレタルモノト解スヘク之等ノ者ノ從屬關係ニ在ル官吏々員モ亦調書作製ノ權限アリト解スヘキニ非スト存候得共一應御意見承知致度目下差懸リタル事件ニモ有之候間至急御回答相煩度及照會候

## 六、隣接地ニ跨ル地上物件ノ調書作成

(行裁 昭和九年第三、三六七號  
同 十二年五月六日宣告)

(要旨) 收用地ト之ニ隣接スル土地トニ跨リテ物件ノ存在シ物件所有者カ該物件全部ノ移轉ヲ爲スノ必要アリトスル場合ニ於テモ土地物件ノ調書作成ニ付起業者カ土地所有者又ハ關係人ニ爲ス立會ノ通知ニ收用地ノ地番ノミヲ記載シ右隣接地ノ地番ヲ記載セサリシトスルモ起業者ハ右隣接地上ノ物件ニ付テ調書ヲ作成スルハ違法ニ非ス

法 令

(判決理由) 原告ハ本件收用ニ付起業者カ原告ニ對シテ爲シタル土地立入ノ通知書及ヒ土地物件調書作成ニ付テノ立會ノ通知書其ノ他之ニ關連スル書類ニハ立入場所トシテ大阪府泉北郡高石町南一三〇〇番ノ二ノミヲ記載シ同番ノ一ヲ記載セザルヲ以テ起業者カ同番ノ一ニ所在スル物件ニ關シ作成シタル調書ハ違法ノモノナル旨主張スルモ係争地ノ内起業者カ道路敷トシテ必要トスルハ一三〇〇番ノ二ノミニシテ同番ノ一ニ非サルコト從テ收用ヲ必要トスル借地權モ亦同番ノ二ニ在ルモノニ限ルモノナルコト、原告所有ノ家屋其ノ他地上物件カ右二筆ノ土地ニ跨リテ存在スルコト、原告ハ右家屋其ノ他ノ地上物件ノ全部ノ移轉ヲ必要ナリトシテ之カ補償ヲ要求セルコト、又借地權ニ付テハ同番ノ一ニ在ルモノノ擴張收用ヲ請求セルコトハ原告ノ争ナキ所ナルカ故ニ起業者カ立入其ノ他ノ通知書ニ同番ノ一ヲ記載セサルニ拘ラス同番ノ二ノ地上物件ト一體不可分ノ關係ニ在ル同番ノ一ノ地上物件ニ付調書ヲ作成スルモ違法ニ非スト解スルヲ相當トス

## 七、土地物件調書ノ記載ト協議或ハ補償

(行裁 大正九年 第二二四號  
同十一年二月二十二日宣告)

(要旨) 土地收用法第二十一條ニ依リ地上物件ノ調書ヲ作

一四七

成シタル場合ニ於テモ必スシモ此ノ調書ヲ基本トシ之ニ記載シタル物件全部ニ對シ移轉ノ協議ヲ爲シ若クハ移轉料ヲ補償スルノ要アルモノニ非ス

(判決理由) 原告ハ本件收用ニ關シテハ土地收用法第二十一條ニ依リ移轉物件調書ヲ作成シタルニ拘ラス起業者カ右調書ト異リタル地上物件調書ヲ作成シ之ヲ基本トシテ原告ニ協議ヲ申込ミタルハ協議ノ眞意ヲ有セサルモノニシテ此ノ如キ協議ハ土地收用法第二十二條第一項ニ所謂協議ノ實ヲ有セサルハ勿論土地收用法第二十一條末項ニ違反スルモノナルカ故ニ協議不調ヲ理由トシテ爲シタル本件裁決ノ申請ハ受理スヘカラサルモノナリト主張スルモ土地收用法第二十一條ニ依リ地上物件ノ調書ヲ作成シタル場合ニ於テモ必スシモ此ノ調書ヲ基本トシ之ニ記載シタル物件全部ニ對シ移轉ノ協議ヲ爲シ若シクハ移轉料ヲ補償スルノ要アルモノニ非サルハ勿論本件ニ於テ起業者カ別ニ移轉物件ノ調書ヲ作成シ協議ノ申出ヲ爲シタルハ原告主張ノ如ク協議ノ眞意ヲ有セサルモノト認ムルコトヲ得サルニ依リ原告ノ主張ハ採用セス

### 八、立會ノ通知ヨリ立會迄ニ相當期間ナ

#### 牛場合ト調書作成ノ拒否

(行裁 大正二年 第二五二號)  
同五年四月十四日宣告

(要旨) 起業者カ土地物件調書作成ニ付キ土地所有者又ハ關係人ノ立會ヲ求ムルニ當リ相當ノ期間ヲ存セサルトキハ立會ヲ爲ササルノ一事ヲ以テ調書ノ作成ヲ拒ミタリト云フコトヲ得ス

土地所有者又ハ關係人カ調書ノ作成ヲ拒ミタルニ非サル場合ニ於テ市町村長ノ立會ヲ以テ作成シタル調書ハ其ノ效力ナシ

(判決理由) 乙第二號證タル本件土地物件調書ハ起業者カ土地收用法第二十一條第二項ノ規定ニ依リ禾生村長代理ノ立會ヲ以テ作成シタルモノナルハ當事者間ニ争ナキ所ナリト雖モ市町村長ノ立會ヲ以テ調書ヲ作成スルハ土地所有者又ハ關係人カ其ノ作成ヲ拒ミタル場合ニ限ルヘキモノナルハ前示規定ニ依リ明ナリ而シテ調書作成ノ爲メ起業者ヨリ原告ニ立會ヲ求メタル證查トシテ被告ノ提出セル乙第一號證ニハ「本月十五日午前十時立會土地實測及ヒ地上物件ノ調査致度候間同刻現場へ立會被下度土地收用法第二十一條ニ依リ此ノ段及通知候也」トアリテ原告ト共ニ調書ノ作成サレンコトヲモ併セテ要求セルモノト認ムル

ヲ相當トス而シテ原告カ此ノ要求ニ拘ラス調書ノ作成ヲ拒ミタルヤ否ヤニ付テハ乙第二號證ニ「土地所有者岡部國太郎立會無之ニ付」云々ノ記載アリテ當日立會ヲ爲ササリシハ事實ナリト認ムヘキモ凡ソ土地所有者ト共同シテ調書ヲ作成スルニ當リテハ土地收用法第二十條ニ定ムル三日ノ期間ヲ存スルノ要ナシト雖モ立會ヲ爲ササリシ事實ヲ以テ直チニ法律ニ所謂調書ノ作成ヲ拒ミタリト云フヘカラス原告カ共力ヲ求ムルハ相當ノ期間ヲ存スヘキコト事理ノ當然ナルニ原告カ乙第一號證ノ通知書ヲ受領シタルハ大正二年十月十二日午前七時ニシテ立會ヲ求メタル調書ノ作成ハ同月十五日午前十時ナルコト當事者間ニ爭ナキ所ニシテ斯ノ如キハ原告ノ立會ヲ求ムルニ相當ノ期間ヲ存シタルモノト認ムルコト能ハサルカ故ニ原告カ調書作成ノ際立會ヲ爲ササリシトモ之ヲ以テ調書ノ作成ヲ拒ミタルモノト云フヲ得ス既ニ原告カ調書ノ作成ヲ拒ミタルモノニ非ストセハ村長代理ノ立會ヲ以テ調書ヲ作成シタルハ違法ニシテ調書トシテ其ノ效力ナキモノナリ

### 九、土地物件調書作成ニ於ケル村長代理

#### タル助役ノ立會ノ當否

(行裁 大正元年 第一八五號  
同元年十二月四日宣告)

法 令

(要旨) 助役カ村長ノ職務ヲ臨時代掌スルカ如キハ殆ント普通ノ事例ニ屬スルヲ以テ特ニ村長ノ意志ニ反シテ越權ノ處置ヲ爲シタリトノ舉證ナキ限り土地物件調書ノ作成ニ際シ村長ニ代リテ立會ヲ爲スモ不法ニ非ス

(判決理由) 起業者カ本件調書ヲ作成セントスル場合ニ於テ土地所有者タル原告ニ其ノ旨ヲ通知シタルニ拘ラス立會ヲ爲ササリシニ依リ法第二十一條第二項ノ規定ニ從ヒ村長代理タル助役ノ立會ヲ求メテ調書ノ作成ヲ了シタル事實ニシテ現ニ村長ノ職務ヲ助役ニ於テ臨時代掌スルカ如キハ殆ント普通ノ事例ニ屬シ特ニ村長ノ意志ニ反シテ越權ノ處置ヲ爲シタリトノ舉證ナキ限り該調書ノ成立ニ關シテ不法アリトノ原告主張ハ之ヲ採用スルニ由ナシ其ノ他原告ハ關係人ニアラサル渡邊善作外二名ヲ調書作成ニ立會ヘシメタル事實竝ニ原告ニ立會ヲ求メタル日時ト調書作成ノ日附トノ差異ニ關シテ云爲スル所アルモ以上ノ二點ハ假リニ原告主張ノ如キ事實アリトスルモ調書其ノモノノ效力ニ對シテ何等必要ノ關係ヲ有セサルモノト認定ス

### 一〇、土地物件調書作成ニ付市町村長カ

#### 立會ニ應セサル場合ノ處置

一四九

(内務 昭和五年五月二十二日發甲第二二號)  
各地方官宛土木局長通牒

(要旨) 土地收用法第二十一條第二項ニ依リ土地物件調査ヲ作成セントスルニ當リ同項後段ノ關係ナキニ拘ラス市町村長カ立會ニ應セサル場合ニハ市制第六十三條第二項又ハ町村制第四百十三條第二項ニ依リ處理スヘキモノトス

(原文) 土地收用法第二十一條第二項ニ依リ市町村長ノ立會ヲ以テ土地物件ニ關スル調査ヲ作成セントスルニ當リ同項後段規定ノ關係ナキニ拘ラス市町村長カ立會ニ應セサル場合ニハ市制第六十三條第二項又ハ町村制第四百十三條第二項ニ依リ處理スヘキモノト省議決定相成候條爲念及通牒候也

註、市制第六十三條第二項(町村制第四十三條第二項)市長(町村長)其ノ他ノ吏員其ノ執行スヘキ事件ヲ執行セサルトキハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員之ヲ執行スルコトヲ得但其ノ費用ハ市(町村)ノ負擔トス

一一、土地物件調査ノ記載事項ニ對スル異議

(行裁 大正九年 第二二三號)  
昭和七年六月十日宣告

(要旨) 土地收用法第二十一條ノ土地物件調査作成後ハ土

地所有者ハ同調査ノ記載事項ニ對シ異議ヲ述フルコトヲ得ス

(判決理由) 原告井上ハ同人所有ノ土地ハ地目畑トシテ收用セラレタルモ其ノ中十七步ハ裁決申請前地目ノ變換ヲ爲シ宅地ト爲シタルモノナルヲ以テ被告カ之ヲ畑トシテ收用ノ裁決ヲ爲シタルハ違法ナリト主張スルモ右土地カ土地收用法第二十一條第二項ニ依リ作成シタル土地物件調査ニ畑ト記載セラレアルコトハ當事者間ニ争ナキ所ニシテ同條第三項ニ依レハ土地所有者ハ調査ノ記載事項ニ對シ異議ヲ述フルコトヲ得サルヲ以テ原告ノ主張ハ理由ナシ

一二、土地調査作成ニ際シ立會ノ通知ヲ受ケサル共有者ノ異議

(行裁 昭和五年 第五三號)  
同 五年八月五日宣告

(要旨) 兩名ノ共有ニ屬スル土地ノ收用ニ付テ土地調査ヲ作製スルニ際シ起業者カ共有者ノ一人タル甲ニハ立會ノ通知ヲ爲シタルモ他ノ一人タル乙ニハ通知ヲ爲サス又右調査ニ於テ右土地カ甲ノ單獨所有ニ屬スルコトヲ乙ニ於テ認メ



タルコトノ乙自身ノ記載ナキトキハ乙ハ土地收用法第二十一條第三項ニ依リ異議ヲ述フルコトヲ得サルモノト爲スヲ得ス

(判決理由) 被告ハ右土地(共有地)カ照山治作ノ單獨所有ニ屬スルモノト認ムヘキモノナルコトハ右土地ニ付起業者カ安岐町長代理助役ノ立會ヲ以テ土地收用法第二十一條ニ依リ作成シタル調書ニ依リ明ナル旨主張スルモ同調書作製ノ爲ニ原告トヨカ起業者ヨリ立會ノ通知ヲ受ケタルコトノ認ムヘキモノナク且同調書ニ依レハ原告治作ハ同調書ニ調印ヲ拒ミタル旨ノ記載アルノミナラス右土地カ原告治作ノ單獨所有ニ屬スルモノナルコトヲ原告トヨニ於テ認メタル趣旨ノ同人自身ノ記載モナキヲ以テ原告トヨハ同條第三項ニ依リ異議ヲ述フルコトヲ得サルモノト爲スヲ得ス被告ハ土地登記簿及ヒ土地臺帳ヲ精査セシニ右土地ハ照山一郎ノ名義ニ屬シ原告兩名ノ共有ニ屬スルモノト認ムルニ足ル記載ナキヲ以テ被告カ右土地ヲ原告治作ノ單獨所有ニ屬スルモノト認メタルハ正當ナル旨主張スルモ前段説明スル如ク照山一郎ノ所有ニ屬シタル土地ハ同人ノ死亡ニ因リ遺産相續人タル原告兩名ノ共有ニ屬スルモノナルヲ以テ原告治作カ原告トヨノ有スル右土地ノ持分ヲ取得シタルコトノ認ムヘキ事實ナ

法 令

キ以上假令土地登記簿及ヒ土地臺帳ニ一郎ノ名義ト爲リ居リ原告兩名ノ共有ニ屬スル旨ノ記載ナシトスルモ其ノ故ヲ以テ右土地カ原告治作ノ單獨所有ニ屬スト認ムヘキモノトノ被告ノ主張ハ採用スルニ由ナシ

正誤

第二十卷登載ノ本稿中左ノ通り訂正致シマス

號	頁	行	誤	正
八	一四一	下 八	通用	適用
一一	一四九	下 二	本案	本條
一一	一六三	下 二	由理	理由
一二	一二五	上 四	主法論	立法論

